

大田区立龍子記念館【プレス資料】

令和 3 年度 コラボレーション企画展の開催について

■コラボレーション企画展

川端龍子 vs. 高橋龍太郎コレクション
一會田誠・鴻池朋子・天明屋尚・山口晃一

■本展について

日本屈指の現代アートのコレクター・高橋龍太郎氏のコレクションを、大田区立龍子記念館で日本画家・川端龍子（かわばたりゅうし、1885-1966）の作品とともに展示します。高橋氏が平成 9 年から収集を始め、現在、2,000 点以上におよぶという日本の現代アートのコレクションは、「高橋龍太郎コレクション」と呼ばれ、これまで全国 7 館を巡回した「ネオテニー・ジャパン—高橋コレクション」展（平成 20 - 22 年）をはじめ、国内外の様々な展覧会で紹介されてきました。そして、令和 2 年度には、現代アートの振興、普及に多大な貢献をしたとして文化庁長官表彰を受賞しています。

美術ファンを魅了してやまない「高橋龍太郎コレクション」とのコラボレーション企画が実現したのは、高橋氏が大田区蒲田でクリニックを永年にわたって経営し、地域との関係性を築いてきたことによります。「アートの力で日本を元気にしたい」という高橋氏の願いが込められたコレクションから、今回は会田誠、鴻池朋子、天明屋尚、山口晃といった日本の現代アートを代表する作家たちの作品を紹介します。

会場となる龍子記念館は、大田区に暮らした日本画壇の巨匠・川端龍子が、昭和 38 年に自らの発意と設計によって自宅の前に開館した美術館です。平成 3 年からは、大田区がその事業を引き継ぎ大田区立龍子記念館として運営を始め、今年が 30 年目を迎える節目の年となっています。この展覧会によって、龍子ファンの方々には現代アートの世界に触れ、その楽しさを発見いただき、また、現代アートファンの方々には、龍子の作品の魅力を再発見していただく機会とすることで、龍子記念館が新たな展開をしていく出発点となる記念すべき展覧会としてまいります。

■会期

会期：令和 3 年 9 月 4 日（土）～11 月 7 日（日）

開館時間：9：00～16：30（入館は 16：00 まで）

休館：月曜日（9 月 20 日（月・祝）は開館し、その翌日に休館）

入館料：大人 500 円、小人 250 円

※65 歳以上（要証明）と 6 歳未満は無料

主催（公財）大田区文化振興協会 後援 朝日新聞東京総局、日本経済新聞社

たかはしりゆうたろう
高橋龍太郎

精神科医。「医療法人社団こころの会」理事長。1990年にタカラシクリニック(大田区蒲田)を開設。現代アートのコレクターで、2,000点以上におよぶ「高橋龍太郎コレクション」は国内のみならず海外でも知られている。



やましたゆうじ
監修：山下裕二

美術史家、明治学院大学文学部芸術学科教授。室町時代の水墨画の研究を起点に、縄文から現代まで幅広く日本美術を論じる。講演、展覧会プロデュースなど多方面において活躍。



出品作家
かわはたりゆうし
■川端龍子

「会場芸術」を提唱し、豪放な筆致の大画面の作品を描いた。1929年に美術団体・青龍社を創立。近代日本画の巨匠と称され1959年に文化勲章受章、1963年に龍子記念館を開館。



あいだまこと
■会田誠

東京藝術大学大学院美術研究科修了。絵画を中心に、映像や立体、マンガ、パフォーマンスなどの作品を制作。主な個展に「会田誠展：天才でごめんなさい」(森美術館、2012)、「ま、Still Aliveってこーゆーこと」(新潟県立近代美術館、2015)等。



こうのいけともこ
■鴻池朋子

様々なメディアを用いて人間の境界、現代の神話をインスタレーションで表現。2017年個展「根源的暴力」(群馬県立近代美術館)にて芸術選奨文部科学大臣賞、2020年個展「ちゅうがえり」(アーティゾン美術館)にて毎日芸術賞受賞。



てんみょうやひさし
■天明屋尚

日本画と現代風俗を融合させた「ネオ日本画」を提唱し、日本の伝統絵画や美の系譜を背景に制作する。主な展覧会に「天明屋尚と暁斎展」(河鍋暁斎記念美術館、2002年)等。



やまぐちあきら
■山口晃

東京藝術大学大学院美術研究科修了。日本の伝統的絵画の様式を用い、油絵の技法で描かれる作風が特徴。主な個展に「山口晃展 前に下がる下を仰ぐ」(水戸芸術館現代美術ギャラリー、2015)等。東京2020パラリンピック公式アートポスター制作。



主な出品作（計 20 点出品）

■会田誠 vs 川端龍子



会田誠《紐育空爆之図(戦争画 RETURNS)》1996 年、高橋龍太郎コレクション

零戦 CG 制作: 松橋睦生、撮影: 長塚秀人

Photo: NAGATSUKA Hideto ©AIDA Makoto, Courtesy of Mizuma Art Gallery



川端龍子《香炉峰》1939 年、大田区立龍子記念館

■鴻池朋子 vs 川端龍子



鴻池朋子《ラ・プリマヴェーラ》2002 年

高橋龍太郎コレクション ©KONOIKE Tomoko



川端龍子《百子図》1949 年

大田区立龍子記念館

■ 天明屋尚 vs 川端龍子



【左】天明屋尚《ネオ千手観音》2002年、高橋龍太郎コレクション

【中】川端龍子《十一面観音》1958年、大田区立龍子記念館

【右】《十一面観音菩薩立像》、奈良時代(8c)、大田区(東京国立博物館寄託)

Image: TNM Image Archives

■ 山口晃 vs 川端龍子



山口晃《五武人圖》2003年、高橋龍太郎コレクション

©YAMAGUCHI Akira, Courtesy of Mizuma Art Gallery



川端龍子《源義経(ジンギスカン)》1938年、大田区立龍子記念館

■ 関連イベント

○トークイベント「龍子記念館でコレクションを語る夕べ」

開催日：令和3年9月25日（土）18:00～19:15

講 師：高橋龍太郎氏（精神科医、現代アートコレクター）

会 場：龍子記念館 展示室内

○企画展講演会「龍子と競演！—高橋龍太郎コレクションについて—」

開催日：令和3年10月24日（日）14:00～15:30

講 師：山下裕二氏（美術史家、明治学院大学教授）

会 場：大田文化の森 多目的室

○ギャラリートーク（事前申込制・定員25名）

開催日：9月19日（日）、10月17日（日）、11月3日（水・祝）

各日11:30、13:00から（40分程度）

■ 広報についてのお問合せ

本展紹介のための作品画像の使用に関しては、下記までお問い合わせください。

※作品画像のほか当館の外観や龍子公園の画像もご用意いたします。

※使用に際しては、掲載内容・放映内容を事前に確認させていただきます。

※使用後、掲載誌および放映が記録されたメディアを見本として当館までご送付ください。

【お問合せ先】

大田区立龍子記念館 〒143-0024 東京都大田区中央4-2-1

TEL & FAX 03-3772-0680 学芸員 木村拓也

■ アクセス

● JR京浜東北線大森駅西口から

東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車、「臼田坂下」下車、徒歩2分

● 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口から

南馬込桜並木通り（桜のプロムナード）に沿って、徒歩15分

